

# DX戦略研究会

～IT/IoT・AIの導入効果を実践的に学ぶ～

コロナ禍で企業経営は大きな変革を迫られている中、DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した経営の効率化が注目され、特にデジタル技術の活用による「ビジネスモデルの変革」や「生産性向上」が企業の成長の大きな課題となっています。

本研究会では、「最初の一步をどのように踏み出せばいいのか?」、セミナー、現場視察とワークショップを行いながら、参加者相互で“自社のDX実現”に向けて学んでいきます。

## ◆【第1回】セミナー

【場所】OKB ふれあい会館 14F「レセプションルーム」  
(岐阜市藪田南5-14-53)

令和3年 9月27日(月) 14:00～15:30

定員  
35名(先着)

<テーマ> 「中小企業のDX戦略」～何から着手すべきか～

<講師> 公益財団法人ソフトピアジャパン 理事長 松島桂樹氏

社会がこれまでにないスピードで変化する中、企業が持続的に成長し新たな価値を創造するためには、デジタル変革(DX)の実現が不可欠となってきています。

今後、中小企業がどのようにDXに取り組んでいけばよいのか、最新のDX事例を交えながらお話いただきます。

## ◆【第2回】企業視察(現場実習)

解決したい自社の課題に合わせて視察コースを選択し、実際にデジタル技術(IT・IoT等)を活用して成果を挙げている現場を視察します。

(詳しくは裏面をご覧ください)

各コース定員  
5名(先着)

10月25日(月) (13:30～15:30)

【Aコース】ワイ・ケー・ピー工業(株) (中津川市)

<業種> プラスチック部品製造

<取組内容> 自社開発IoT活用による射出成形機等の現場管理の改善

10月26日(火) (10:00～12:00)

【Bコース】豊桑産業(株) 各務原工場 (各務原市)

<業種> 木質内装建材の製造

<取組内容> 加工のデジタル化による工程改善

10月26日(火) (13:30～15:30)

【Cコース】(株)大野ナイフ製作所 (関市)

<業種> 家庭用、業務用刃物の製造卸

<取組内容> IoT活用によるボトルネック工程の見え  
る化

## ◆【第3回】ワークショップ

定員  
15名

11月5日(金) 13:00～17:00

【場所】OKB ふれあい会館 14F「レセプションルーム」

<テーマ> 「DX活用の可能性を考える」

<講師> 山崎隆氏

(コンサルティングファーム ベレーベント 代表)

<アドバイザー> 佐藤忠彦氏

(有限会社トリガーデバイス 取締役社長)

### ①講義 (13:00～14:00)

最新のIoT/AI事例紹介、データ活用の勘所、DX化のためのフレームワークについて学びます。

### ②グループワーク (14:00～16:45)

視察先(共通課題)ごとにグループに分け、グループディスカッション(情報交換、情報共有)を通じながら、以下の内容を検討します。

(1)課題抽出と目標設定

(2)DX活用による課題解決策の検討

(3)全体発表

### ③DX推進に役立つ助成金の紹介 (16:45～17:00)

## 【第2回】企業視察先情報

※解決したい自社の課題に合わせてコースを選択して下さい。

コース	Aコース	Bコース	Cコース
解決したい課題	コスト削減、品質向上 不良率低減	歩留り率向上、生産性向上 原価低減	見える化、効率化 生産性向上
視察日時	10月25日(月) 13:30~15:30	10月26日(火) 10:00~12:00	10月26日(火) 13:30~15:30
視察先	ワイ・ケー・ピー工業(株)	豊桑産業(株) 各務原工場	(株)大野ナイフ製作所
住所	中津川市千旦林 651 番地 15	各務原市鶴沼三ツ池町 6-424-1	関市下有知 4 1 6 4 - 1
業種	プラスチック部品製造	木質内装建材(カウンター・キャビネット・造作材等)の製造	家庭用、業務用刃物(各種包丁・ナイフ・工業用刃物)製造卸
資本金	20,000 千円	30,000 千円	20,000 千円
従業員数	107 名	86 名	110 名
デジタル技術	IoT、ロボット、生産管理システム	wood CAD/CAM、自動倉庫システム、ロボット	製造実行システム、IoT、ロボット、非専用端末
取組内容	自社開発 IoT 活用による射出成形機等の現場管理の改善	加工のデジタル化による工程改善	IOT 活用によるボトルネック工程の見える化
ここがポイント！(見どころ)	成形工場内にある全31台の設備にIoTを導入し、設備の監視・保守・制御・分析が可能となり、リアルな情報共有と社内体制が強化となった。これにより、ボカミス低減(240万円/年)、段取り時間短縮(1,152時間/年)などを達成した。	製造のデジタル化を目指し、あらゆる情報を使用可能な情報にデジタル化。 これにより、あらゆる業務(生産計画、加工プログラム、加工、塗装、梱包、出荷など)が手動から自動化に工程改善され、歩留まり率が向上した。	最大150に及ぶ高級包丁生産工程をIoT活用により「見える化」に成功。現場でのリアルタイムな進捗情報を共有、管理できるようになった。その成果として、ボトルネック工程を早期に発見でき、PDCA改善活動を行ったことにより、生産効率が上昇し、残業時間削減に成功した。
活用助成金	H27 補正ものづくり補助金	H25,H29 補正ものづくり補助金	R2 岐阜県 IoT コンソーシアム補助金

### 【企業視察の留意事項】

- ・現地集合、現地解散となります。(参加申込後、詳細は追って御連絡します)
- ・同業他社の方はお断りする場合がございます。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止する可能性がありますので、予めご了承下さい。

**参加条件** 参加企業による相互の学びを深めるため、全3回の参加を原則とします。(但し、セミナーのみ参加可)

**申込方法・申込締切** 9月17日(金)までに下記申込書をご記入の上、FAXして下さい。

### 参加申込書

**【FAX】 058-273-3930**

<申込日> 令和3年 月 日

事業者名		業種	
所属・役職		TEL	
参加者氏名		FAX	
E-mail	@		

参加希望コース (○を付して下さい)	1. Aコース	2. Bコース	3. Cコース	4. セミナー(9/27)のみ参加
-----------------------	---------	---------	---------	-------------------

<お問合せ先> 岐阜県中小企業団体中央会 事業推進課 小林/中林 ☎ 058-277-1101

【中央会 URL】 <http://www.chuokai-gifu.or.jp/>

※このチラシは岐阜県の補助を受けて作成しております。